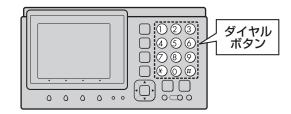
第2章
電話

電話をかける

親機で電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 機能選択 | | 登 録

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能 ☞5-5ページ）

ロク!

ボタン	音声	ボタン	音声
@./-_ 1 あ	「イチ」	TUV 8 や	「ハチ」
ABC 2 か	「ニ」	WXYZ 9 ら	「キュウ」
DEF 3 さ	「サン」	記号 0 わ 再生▶	「ゼロ」
GHI 4 た	「ヨン」	トーン ＊ ⏮	「スター」
JKL 5 な	「ゴ」	# ⏭	「シャープ」
MNO 6 は	「ロク」	再ダイヤル	「ポーズ」
PQRS 7 ま	「ナナ」		

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

通話時間： 1分30秒
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 機能選択 | | 登 録

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ 途中でやめるときは

受話器を戻します。

■ 電話がかけられないときは（☞8-11ページ）

■ 通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（☞9-6ページ）を「なし」にします。

■ 通話中にファクスを受信するときは

親機で通話中のときは［FAX スタート］、子機で通話中のときは［機能］を押します。

■ 読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-32ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ 読上げボイスダイヤル機能を解除するときは

（☞5-5ページ）

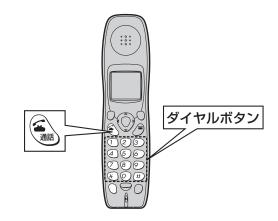
■ 受話器を取らずに電話をかけるときは

［オンフック］を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。

お知らせ

- 表示される通話時間は59分59秒までです。
  この時間を超えると 0 秒から新しくカウントされます。
- 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。
  通知する／しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

子機で電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 充電器から取って
 を押す

●通話ボタンが点灯します。

●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（☞2-7ページ）

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話を防ぐために、ダイヤルするときは、「ツー」音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

●通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **「ピーピー」音が聞こえるときは**
（☞8-30ページ）

お知らせ

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 親機でコピー中・プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。
- 子機で電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

電話を受ける

親機で電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

通話時間： 1分30秒
着信通話

画 質　機能選択　　登 録

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（親機の呼出音量を変える **☞1-27ページ****）**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞9-6ページ）

■ **通話中にファクスを受信するときは**
（**☞2-3ページ****）**

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-5ページ）
- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると０秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30

3 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは**
呼出音が鳴っているときに （切）を押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときは、もとの設定している呼出音が鳴ります。

■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（子機の呼出音量を変える ☞1-30ページ）

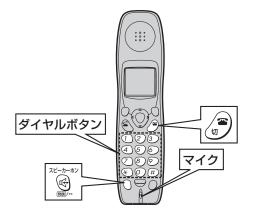
■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞9-6ページ）

お知らせ

- 子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話を設定する ☞5-16ページ）
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞7-5ページ）
- 親機でコピー中・プリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。

子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話をかける

子機を置いたまま電話をかけてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた

1 **を押す**

●通話ボタンと マークが点灯します。

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

●マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。

●通話中は通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら **を押す**

●通話時間（目安）は約 5 秒後に消えます。

■ **途中でやめるときは**
（切）を押します。

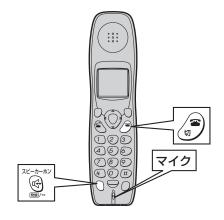
■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
（☞8-30ページ）

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**
（子機のスピーカー音量を変える ☞1-33ページ）

お知らせ

● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えることができます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

子機を置いたまま電話を受ける

子機を置いたまま電話を受けてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら スピーカーホン **を押す**

●通話中は通話時間（目安）を表示します。

●通話ボタンと マークが点灯します。

2 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら 切 **を押す**

●通話時間（目安）の表示は、約 5 秒後に消えます。

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**
（子機のスピーカー音量を変える **☞1-33ページ****）**

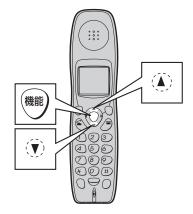
■ **呼出音の大きさを変えるときは**
（子機の呼出音量を変える **☞1-30ページ****）**

お知らせ

- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
- 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに呼出音が鳴ります。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、▲ または ▼ で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ

ユウセンヨビダシ

2 機能 を押す

- 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。
- 「優先呼出を設定しました」と音声メッセージが流れます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順1～2の操作をします。

「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。
「優先呼出を解除しました」と音声メッセージが流れます。

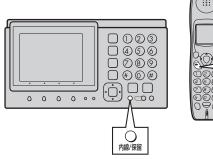
➡

優先呼出の表示が消えます

お知らせ

- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。
  すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中・プリント中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、呼出音も鳴りません。
  コピー・プリント終了後は、子機で受けることができます。

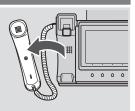
通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。
（曲名：「メヌエット（アルルの女）」）

親機で通話中にお待たせする

操作のしかた

1 通話中に ○(内線/保留) **を押して、受話器を戻す**

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは **受話器を取る**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

●受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線/保留ボタンを押すと、再び通話できます。

子機で通話中にお待たせする

操作のしかた

1 通話中に (内線/クリア 保留) **を押す**

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは (通話) **または** (内線/クリア 保留) **を押す**

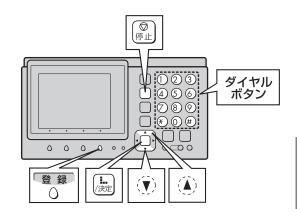
●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

●通話ボタンが点灯します。

■ 保留中に他の電話機で電話に出るときは
（ひとり転送 **☞2-36ページ）**

親機の電話帳に登録する

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。
１人につき２つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。
また、相手の方のメールアドレスを登録することができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 **登 録 を押し、▲ または ▼ で「電話帳」を選ぶ**

登録設定
3 からくり時計設定
4 おもしろ便利機能設定
5 音関連設定
6 画面設定
7 電話帳
で選択，[/決定] で決定
戻 る

2 **/決定 を押し、「登録」を選ぶ**

電話帳
1 登録
2 子機転送
で選択，[/決定] で決定
戻 る

3 **/決定 を押す**

＜ 名前 ＞ [漢/かな]
＞
[ダイヤル] で文字入力，[取消] で
文字切替 取 消

4 **名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）**（☞1-38～1-42ページ）

＜ 名前 ＞ [漢/かな]
池田 悟
＞
[ダイヤル] で文字入力，[取消] で
文字切替 取 消

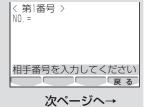
●名前の入力を省略するときは、Ｌ/決定ボタンを押して手順７に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。
また、メールアドレスのみ登録すると名前のところにメールアドレスが表示されます。

5 **/決定 を押す**

＜ 読み ＞ 半 [カナ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
＞
[ダイヤル] で文字入力，[取消] で
文字切替 取 消

●「読み」に変更があれば修正します。（☞1-38～1-42ページ）
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
●名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

6 「読み」が正しければ **/決定 を押す**

次ページへ→

→つづき

7 電話番号（第１番号）を入れる（最大32ケタ）

< 第1番号 >
NO.＝0312345678
最後に［/決定］で決定します
取 消

●番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押すと、１つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。

●メールアドレスを登録する場合は、第１番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして、手順10に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第１番号の入力は省略できません。）

●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせるとき（☞7-20～7-22ページ）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

8 ［/決定］を押す

< 第2番号 >
NO.＝
相手番号を入力してください
戻 る

9 電話番号（第２番号）を入れる（最大32ケタ）

< 第2番号 >
NO.＝09012345678
最後に［/決定］で決定します
取 消

●第２番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

10 ［/決定］を押す

11 メールアドレスを入れる（最大半角50文字）

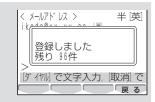
< ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ >　半［英］
ikeda@xx.yy.co.jp
>
［ﾀﾞｲﾔﾙ］で文字入力，［取消］で
文字切替
取 消

●第１番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順12に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第１番号の入力は省略できません。）

●メールをご利用時に使用します。
（☞6-25ページ）

●文字の入力モードが半［英］のとき［＊］を押すとサイト（番組）やメールアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
［＊］を押して文字を選んだあと、［/決定］を押します。

「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「www.」

12 ［/決定］を押す

●続けて登録するときは手順３～12をくり返し行ってください。

13 ［停止］を押す

■ 途中でやめるときは

[停止] を押します。

■ 1つ前に戻るときは

[戻る] または [取消] を押します。

■ 先に電話帳ボタンを押してから登録するときは

① [見てからダイヤル/電話帳] を2回押す

② [新規登録] を押す

③ 2-11～2-12ページの手順4から手順13の操作をする

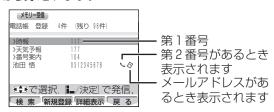
■ 登録した内容を確認するときは

① [見てからダイヤル/電話帳] を2回押す

② [▲] または [▼] で確認したい相手の方を選んだあと、[詳細表示] を押す

③ 確認後、[停止] を押す

■ 電話帳リスト画面の見かた

[見てからダイヤル/電話帳] を2回押すと、登録されている番号の一覧が表示されます。

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞2-24ページ）

■ 親機の電話帳の内容をプリントするときは

① [見てからダイヤル/電話帳] を2回押す

② [コピー/印刷] を押す

■ ポーズについて

（再ダイヤル）ボタンを押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
ポーズは、ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

お知らせ

● 親機の電話帳には、あらかじめ次の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177
≫番号案内	104

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストの詳細表示をして、確かめてください。

● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-20～7-22ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。

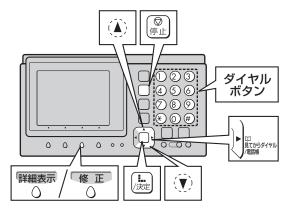
● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号か、メールアドレスが名前として登録されます。

● 親機の電話帳の内容をプリントしているときは、子機で電話をかけたり、受けたりすることはできません。

● 電話帳に登録した電話番号のうち、よく利用する番号を親機のダイヤルボタンに登録し、より少ない手順で電話をかけたりファクスを送ることができます。（見てからダイヤル　☞2-26～2-28ページ）

● 見てからダイヤル（☞2-26～2-28ページ）では、電話帳に登録した名前の先頭から全角5文字（半角10文字）分だけが表示されます。見てからダイヤルに登録する相手の方は、電話帳の名前の文字数を全角5文字（半角10文字）以内で登録することをおすすめします。

親機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

操作のしかた

1 見てからダイヤル/電話帳 **を2回押す**

2 ▲ **または** ▼ **で修正する相手の方を選ぶ**

3 詳細表示 **を押す**

4 修 正 **を押す**

5 名前を入れ直す
(☞1-38〜1-42ページ)

●名前を修正しないときは手順6に進んでください。

6 /決定 **を押す**

7 「読み」を入れ直す
(☞1-38〜1-42ページ)

●「読み」を修正しないときは手順8に進んでください。

8 /決定 **を押す**

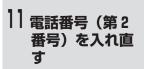
9 電話番号（第1番号）を入れ直す

●取消ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。

●第1番号を修正しないときは手順10に進んでください。

10 /決定 **を押す**

次ページへ→

→つづき

11 電話番号（第２番号）を入れ直す

●第２番号を修正しないときは手順12に進んでください。

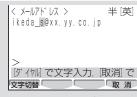
12 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **一つ前に戻るときは**

戻る または 取消 を押します。

13 メールの宛先を入れ直す

●メールの宛先を修正しないときは手順14に進んでください。

14 を押す

15 停止 を押す

お知らせ

● 親機の電話帳の内容を修正すると、見てからダイヤル（☞2-26～2-28ページ）の登録内容も自動的に更新されます。

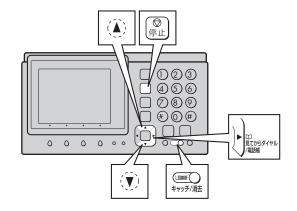
2 電話

親機の電話帳に登録する

親機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を1件ずつ消去することができます。

操作のしかた

1 見てからダイヤル/電話帳 **を2回押す**

2 ▲ **または** ▼ **で消去する相手の方を選ぶ**

電話帳　登録　4件　(残り 96件)	
》時報	117
》天気予報	177
》番号案内	104
池田 悟	0312345678

で選択，[/決定] で発信，
検　索　新規登録　詳細表示　戻　る

3 キャッチ/消去 **を押す**

4 キャッチ/消去 **を押す**

5 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**
（☞9-3ページ）

■ **一つ前に戻るときは**
戻る を押します。

お知らせ

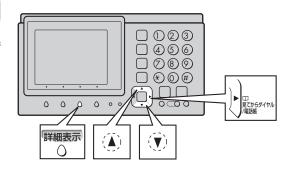
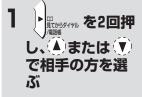
● 親機の電話帳の内容を消去すると、見てからダイヤル（☞2-26～2-28ページ）に登録している内容も自動的に消去されます。

親機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 見てからダイヤル/電話帳 **を2回押し、▲または▼で相手の方を選ぶ**

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

2 詳細表示 **を押し、▲または▼で電話番号（第1番号または第2番号）を選ぶ**

●第1番号に電話をかけるときは、手順1のあと、受話器を取ってかけることができます。

3 受話器を取る

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら**受話器を戻す**

■ 途中でやめるときは

相手の方を選んでいるときは 停止 を押します。
通話中は受話器を戻します。

■ 受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあと「184」や「186」をダイヤルします。親機が発信中のときは、②～⑥の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑥の操作を行ってください。）

② 見てからダイヤル/電話帳 を2回押し、▲または▼で相手の方を選ぶ
第1番号に電話をかけるときは、このあと /決定 を押してかけることができます。

③ 詳細表示 を押し、▲または▼で電話番号（第1番号または第2番号）を選ぶ

④ /決定 を押す

⑤ 相手の方とお話しする

⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

お知らせ

● 電話帳から自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などダイヤルした番号では働きます。）

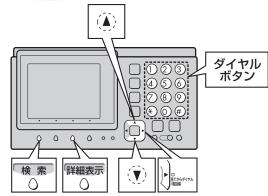
相手の方の名前で検索して電話をかける

名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 **を 2 回押す**

2 **を押す**

●読みが50音で始まるときは、手順 2 をとばして手順 3 に進むことができます。

3 ダイヤルボタンで名前の「読み」を入力する（☞1-38〜1-42ページ）

●「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

4 ▼ **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で相手の方を選ぶ**

6 詳細表示 **を押し、▲または▼で電話番号（第 1 番号または第 2 番号）を選ぶ**

●第 1 番号に電話をかけるときは、手順 5 のあと、受話器を取ってかけることもできます。

7 受話器を取る

●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

8 相手の方とお話しする

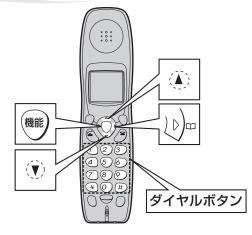
9 通話が終わったら **受話器を戻す**

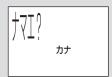
■ **途中でやめるときは**

相手の方を選んでいるときは [停止] を押します。
通話中は受話器を戻します。

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押す

2 名前を入れる（最大12文字）
（☞1-43〜1-46ページ）

イケダ　サトシ
カナ

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順４に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。（12ケタまで）

3 機能 **を押す**

4 電話番号を入れる（最大16ケタ）

●番号を入れまちがえたときは内線/クリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。

●内線/クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。

5 機能 **を押す**

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

●続けて登録するときは手順１〜５をくり返し行ってください。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは**（☞**2-25ページ**）

■ **ポーズについて**

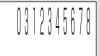
（再ダイヤル）ボタンを押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ポーズは、ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

子機の電話帳を修正する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

2 機能 を 2 回押す

■ **途中でやめるときは**

を押します。

3 電話番号を入れ直す

- 内線/クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- 内線/クリアボタンを 2 秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4 機能 を押す

お知らせ

- 子機の電話帳にはあらかじめ、3 人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫バンゴウアンナイ	104

- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞7-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞7-22ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞7-2ページ）や着信鳴り分け（☞7-22ページ）が働かなくなります。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。
- 子機に登録した名前を修正することはできません。名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、もう一度登録し直してください。
- 子機の電話帳の番号を見てからダイヤルに登録することはできません。

子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **▲または▼で相手の方を選ぶ**

2 **機能を押し、▲または▼で「ショウキョ」を選ぶ**

3 **機能を２回押す**

●「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ **途中でやめるときは**

切を押します。

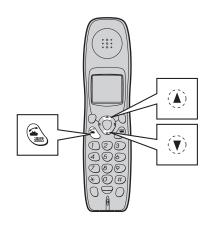
子機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ で相手の方を選ぶ

イケダ　サトシ

●相手の方を選んだあと、▶ を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 通話 を押す

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

●ダイヤルを始めます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら**充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■**17ケタ以上の番号をダイヤルするときは**

電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。（チェーンダイヤル機能）

① 手順1〜2または「相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける」（☞2-23ページ）の手順1〜4を行い、最初の番号をダイヤルする

② ▶ を押す

③ 手順1〜2または「相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける」（☞2-23ページ）の手順1〜4を行い、次のダイヤルをする

お知らせ

● 親機でコピー中・プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

● 子機から見てからダイヤル機能を利用することはできません。

相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▷ を押す

2 **相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する**

（例）「イ」で探す：
1ア を 2 回押す

3 ▼ **を押す**

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

4 ▲ **または** ▼ **で相手の方を選んだあと、** 通話 **を押す**

- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 **相手の方とお話しする**

6 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると電話帳の内容（「読み」と第１番号）が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると電話帳の内容（「名前」と「読み」と第１番号）が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

操作のしかた

1 登録 を押し、▲または▼で「電話帳」を選ぶ

2 ［L/決定］を押し、▲または▼で「子機転送」を選ぶ

3 ［L/決定］を押す

すべて転送するときは

4 「全件転送」を選ぶ

1件ずつ転送するときは

4 ▲または▼で「1件毎転送」を選ぶ

↓

［L/決定］を押し、▲または▼で転送したい相手の方を選ぶ

5 ［L/決定］を押し、▲または▼で転送先の子機を選ぶ

例：全件転送の場合

6 ［L/決定］を押す

（ただし、17ケタ以上の番号で登録しているデータや、メールアドレスのみ登録しているデータは転送できません。）

■ **途中でやめるときは**

［停止］を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **「転送できないデータがあります 操作を続けますか？[L/決定]で転送します」と表示されたときは**

この表示は親機に17ケタ以上の番号で登録しているときや、メールアドレスのみ登録しているときに表示されます。
［L/決定］を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ

- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機の電話帳をすべて親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能)を押し、(▲)または(▼)で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ

デ゛ンワチョウテンソウ

2 (機能)を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

子機の電話帳を１件ずつ親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (▲)または(▼)で転送したい相手の方を選んだあと、(機能)を押す

バ゛ンゴ゛ウヘンコウ

2 (▲)または(▼)で「デンワチョウテンソウ」を選んだあと、(機能)を押す

カンリョウシマシタ

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、上の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

■ **途中でやめるときは**
(切)を押します。

お知らせ

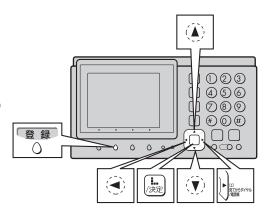
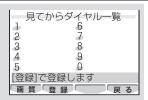
● 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
● 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
● 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
● 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報、番号案内）を転送することはできません。
● 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、１か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
● 子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
● 転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

見てからダイヤルを利用する

見てからダイヤルに登録する

電話帳の登録者に簡単な操作で電話をかけたりファクスを送ることができます。（見てからダイヤル）
見てからダイヤルは10件まで登録できます。
見てからダイヤルに登録するには、あらかじめ親機の電話帳に番号を登録しておく必要があります。（☞2-11～2-13ページ）

操作のしかた

1 **を押す**

- 見てからダイヤルが１件も登録されていないときは「[登録]で登録します」と表示されます。
- すでに登録されている見てからダイヤルには、相手の方の名前が表示されます。

2 登録 **を押す**

3 ▲▼◀▶ **で 登録したい番号（1～0）を選ぶ**

- すでに登録されている番号（1～0）を選ぶと、新しい電話番号が登録（上書き）されます。
- 電話番号を登録できるのは10件までです。10件登録されている状態で新たに登録する場合は、すでに登録されているダイヤルを選んで上書きするか、見てからダイヤルの登録を解除してください。（☞2-27ページ）

4 **を押す**

5 ▲ **または** ▼ **で 登録したい相手の方を選ぶ**

- 親機の電話帳リストから登録したい相手の方を選びます。

6

- 見てからダイヤルに登録できるのは第１番号のみです。
- 見てからダイヤルでは電話帳に登録されている名前の先頭の全角５文字（半角10文字）のみ表示されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止]を押します。

■ **一つ前に戻るときは**

[戻る]を押します。

■ **見てからダイヤルに登録した内容を修正するときは**

もとの電話帳の登録内容を修正してください。（☞2-14ページ）

■ **見てからダイヤルの登録を解除するときは**

① 「見てからダイヤルに登録する」（☞2-26ページ）の手順 2 までの操作をする。

② [▲][▼][◀][▶]で登録を解除したい項目を選ぶ。

③ [キャッチ/消去]を押す。

④ もう一度、[キャッチ/消去]を押す。

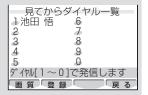
また、登録されている項目を電話帳から消去しても、見てからダイヤルの登録は解除されます。

お知らせ

● 見てからダイヤルを登録する画面から登録内容を修正することはできません。
● 親機の電話帳の内容を修正または消去すると、見てからダイヤルの登録内容も自動的に更新されます。
● 見てからダイヤルで名前が途中までしか表示されない場合、全部表示させたいときは、親機の電話帳の名前を全角 5 文字（半角10文字）以内に修正してください。（☞2-14～2-15ページ）
● 電話帳に 1 件も番号が登録されていないとき見てからダイヤルに登録しようとすると、「電話帳に登録がありません」と表示されます。電話帳に番号を登録してから、再度手順 1 ～ 6 を行ってください。

見てからダイヤルで電話をかける

操作のしかた

1 受話器を取る

2 [見てからダイヤル/電話帳] を押す

3 相手の方が登録されているダイヤルボタン（1～0）を押す

●相手の方の名前が表示され、ダイヤルを始めます。

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら**受話器を戻す**

■ 途中でやめるときは

受話器を戻します。

お知らせ

- 番号が登録されていないダイヤルボタンを押すと、「登録されていません」と表示されます。
- 見てからダイヤルから自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

ホットラインダイヤルを利用する

子機ではよく電話をかける相手の方をホットラインダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。(☞2-19ページ)

ホットライン
ダイヤル

ホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ **で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ**

2 ホットラインダイヤル **を押す**

●「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3 切 **を押す**

ホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ホットラインダイヤル **を押す**

●スピーカーホン通話で電話をかけます。

●通話ボタンと マークが点灯し自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら **相手の方とお話しする**

3 通話が終わったら 切 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**

ホットラインダイヤル を２秒以上押します。

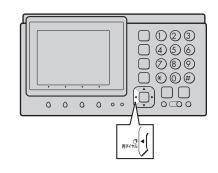
（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。）

お知らせ

● ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
● 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 ツーという音が聞こえたら

 を押す

0312345678
画 質 機能選択 登 録

●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。

●最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ 途中でやめるときは

受話器を戻します。

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは

受話器を置いたまま操作します。

① 再ダイヤル を押す

② キャッチ/消去 を押す

③「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。

● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

● 再ダイヤルで電話をかけ直すときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、最大 3 件記憶されています。

操作のしかた

1 子機を充電器から取って **を押す**

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 **（▲）または（▼）で選び、（通話）を押す**

●子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

●子機を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら **充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （機能）を押し、（▲）または（▼）で「サイダイヤルクリア」を選ぶ

② （機能）を押す

③ もう一度、（機能）を押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

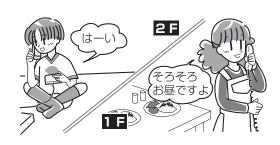
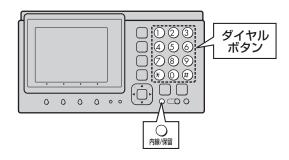
- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
- 子機の再ダイヤルの記録を、１件ずつ消去することはできません。
- 親機でコピー中・プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話しする

親機から子機を呼び出して、お話しします。

操作のしかた

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき 1

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）

② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

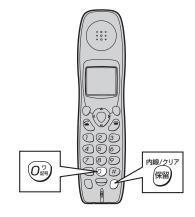
① 切 を押す（内線通話が切れます。）

② 子機の呼出音が鳴り始めたら、通話 を押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

- 内線通話では、保留はできません。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話のときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機から親機を呼び出してお話しする

子機から親機を呼び出してお話しします。

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って
内線/クリア 保留 **を押し、親機の内線番号（0）を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

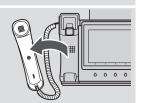
呼出音が鳴ったら
受話器を取る

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機
受話器を戻す

子機
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

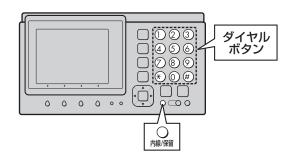
● 子機のスピーカーホンでの内線通話はできません。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機から子機へ電話をとりつぐ

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 親機

通話中に 内線/保留 **を押し、子機の内線番号を押す**

（例）子機１のとき

- 相手の方には、保留メロディーが流れます。
- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 通話ボタンが点灯します。
- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す

- 受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**
次の（操作方法1）または（操作方法2）の操作をします。

（操作方法１）
① 内線/保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）
② もう一度 内線/保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）
① 受話器を戻す
② 再度、受話器を取る
（相手の方との通話に戻ります。）

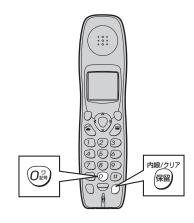
お知らせ

- とりつぎ転送するときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機から親機へ電話をとりつぐ

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 子 機

通話中に
（内線/クリア 保留）**を押し、**
親機の内線番号
（0 ワ 記号）を押す

●通話ボタンが点滅します。

2 親 機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●子機とお話しできます。

3 子 機

電話をとりつぐことを伝えて充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

●このあと、親機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① （内線/クリア 保留）を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 （内線/クリア 保留）を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機、また子機から他の子機にとりつぐことができます。

親機から子機へとりつぐ

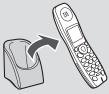
操作のしかた

1 親機

通話中に 内線/保留 **を押し、受話器を戻す**

通話時間：　30秒
保留中
画質

2 子機

充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から親機へとりつぐ

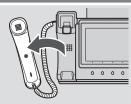
操作のしかた

1 子機

子機で通話中に 内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

保留音が鳴ったら
受話器を取る

- 相手の方とお話しできます。

子機から他の子機へとりつぐ

操作のしかた

1 子機

子機で通話中に 内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

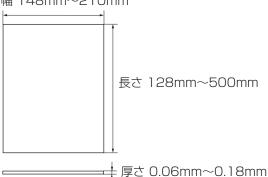
充電器から取って
通話 **を押す**

- 充電器に置いていないときは、そのまま通話ボタンを押します。
- クイック通話を「ON」にしているときも通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

第3章 コピー／ファクス

コピーやファクスをする前に

使用できる原稿

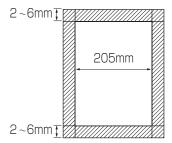
■ **セットできる原稿のサイズ**

● コピーするときは記録紙がA4サイズなのでA4サイズの原稿（210mm×297mm）までしかプリントできません。
ただし、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。（分割コピー ☞9-8ページ）

<厚さの目安>

新聞紙の厚さは約0.05～0.06mmです。
上質紙の厚さは約0.10mmです。
官製はがきの厚さは約0.23mmです。
この取扱説明書の表紙の紙厚は約0.14mmです。
この取扱説明書の本文の紙厚は約0.09mmです。

■ **原稿を読み取れる範囲**

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

● 最大読み取り幅　205mm
● 最大読み取り長　送信原稿長
(128～500mm)から上下とも2～6mmを引いた長さ

■ **一度に 2 枚以上セットできない原稿**

● 長さ297mmを超える原稿
● 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
● 厚さや大きさの異なる原稿

■ **そのままではセットできない原稿**

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

● サイズが規定より小さすぎるもの
（例：写真など）
● フィルム状のもの
● 紙の厚さが薄すぎるもの
● しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
● 裏カーボン紙、感熱紙など
● コーティングされているもの

お知らせ

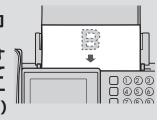
● クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
● 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。（汚れたときは☞8-3、8-5ページ）
● 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。
「原稿がつまったときは」を参照して取り出してください。（☞8-6ページ）

原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に10枚まで）

操作のしかた

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

2 原稿はウラ向きに！ コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に10枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **11枚以上の原稿があるとき**

10枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す（原稿排出）

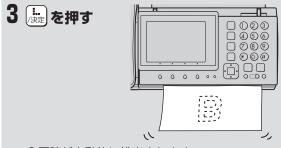
操作のしかた

記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

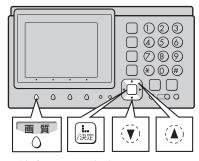
●原稿が１枚だけのときは、そのまま手順２へ進みます。

2 機能選択 を押して ▲ または ▼ で「原稿排出」を選ぶ

3 /決定 を押す

●原稿が自動的に排出されます。

●原稿が排出されないときは（☞8-6ページ）

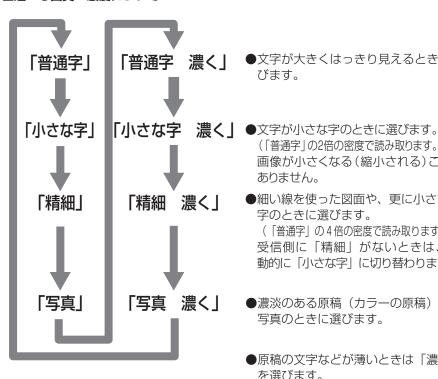
コピーやファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

※画質ボタンは原稿がセットされているときのみ、表示されます。

操作のしかた 原稿をセットした状態で操作します。

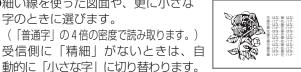
1 **画質 を押し、画質・濃度を選ぶ**

- 画質ボタンを押すごとに、画質・濃度が変わります。
- 選ぶことができる画質・濃度は3-5ページをご覧ください。
- 画質ボタンを押さなかった場合、コピーのときは「小さな字」、ファクス送信のときは「普通字」に設定されます。

■選べる画質・濃度について

●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

●文字が小さな字のときに選びます。
（「普通字」の2倍の密度で読み取ります。）
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。
（「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）
受信側に「精細」がないときは、自動的に「小さな字」に切り替わります。

●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

●原稿の文字などが薄いときは「濃く」を選びます。

お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送るとファクスの送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「普通字」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。また「普通字　濃く」を選んでも、「小さな字　濃く」でコピーされます。
- ファクスを送信する場合に画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」が選ばれます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

等倍でコピーする

一度に10枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。
（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

2 **を押す**

●コピーが始まります。

■ 記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）

■ 途中でやめるときは

停止を押します。
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

お知らせ

● 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
● 通話中にコピーを始めることはできません。
● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。親機のオンフックボタンを押しても、相手からの声は聞こえますが、お話しはできません。
● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
● 停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

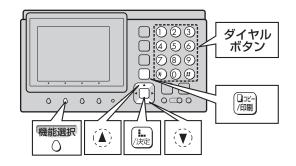
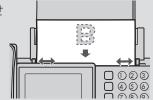
■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に 画質 を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ 拡大コピー／縮小コピー／複数枚コピーをするときは（☞3-7ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞8-6ページ）

拡大／縮小／複数枚コピーする

拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピーなどができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

2 機能選択 **を押し、「コピー設定」を選ぶ**

機能選択
1 コピー設定
2 着信記録
3 インクリボン使用量
4 メモ録音・通話録音
5 オリジナル応答
で選択，/決定 で決定
画質　戻る

3 /決定 **を押し、▲または▼でコピーの種類を選ぶ**

コピー設定
1 拡大 1.4倍
2 縮小 0.8倍
3 複数枚コピー
で選択，/決定 で決定
画質　戻る

4 /決定 **を押し、** コピー/印刷 **を押す**

●コピーが始まります。

●コピー終了後、等倍に戻ります。

手順３のときに……

「拡大1.4倍」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。

「縮小0.8倍」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。

「複数枚コピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
1 ～ 5 を押して枚数を入力し、/決定 を押します。（最大５枚）

■ **複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**
枚数を入力し直します。

■ **等倍コピーをするときは（☞3-6ページ）**

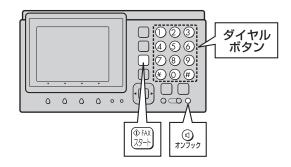
■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）**

お知らせ
● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

ファクスを送る

親機でお話ししてから ファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に10枚までセットできます。

?操作ガイド を押すとファクス送信の案内が表示されます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 受話器を取る

- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（☞3-10ページ）

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 機能選択 | | 登 録

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）各ボタンの音声については、2-2ページの音声一覧をご覧ください。

4 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
FAXスタート を押す

- 相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
- 相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）
  ※回線の状態でおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたらFAXスタートボタンを押してください。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）

5 受話器を戻す

- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **11枚以上の原稿があるときは（☞3-3ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-24ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞3-3ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞3-15ページ）**

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「終了音を鳴らす」（☞5-15ページ）で切り替えます。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

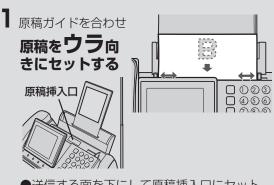
■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-32ページ）

■ **読上げボイスダイヤル機能を解除するときは（☞5-5ページ）**

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤル、お話ししないでファクスを送ることができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 オンフック **を押す**

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

画 質 | 機能選択 | 登 録

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。(読上げボイスダイヤル機能) 各ボタンの音声については、2-2ページの音声一覧をご覧ください。

4 電話がつながったら
FAXスタート **を押す**

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）
- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **送信前に途中でやめるときは**

オンフック を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

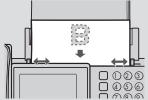
お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。
- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
- 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」音が聞こえます。
- 読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

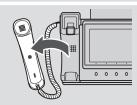
海外へファクスを送る

時差など考えて上手にご利用ください。

操作のしかた　（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 受話器を取る

3 電話会社の識別番号をダイヤルする

●「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要はありません。

●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。(読上げボイスダイヤル機能）各ボタンの音声については、2-2ページの音声一覧をご覧ください。

4 010をダイヤルする

5 国番号を入れる

（例）アメリカ
1

6 市外局番を入れる

（例）2 1 2

XXXX0101212
画 質　機能選択　登 録

●最初にくる「0」は必要ありません。

7 ファクス番号をダイヤルする

（例）1 2 3 - 4 5 6 7

8 電話がつながったら
 を押す

●送信が始まります。

●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。☞8-6ページ）

●相手の方が電話に出る前にFAXスタートボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

9 受話器を戻す

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

お知らせ

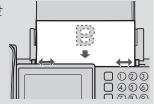
● 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。

● 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞2-11～2-13、2-19ページ)
相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 ① **見てからダイヤル/電話帳 を2回押し、▲または▼で相手の方を選ぶ**

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

② **を押し、▲または▼で電話番号（第1番号または第2番号）を選ぶ**

●第1番号にファクスを送るときは、手順①のあと、FAXスタートボタンを押して送ることもできます。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 再ダイヤル **を押す**

再ダイヤル
池田 悟
0312345678
[/決定] でFAX送信, [消去] で
画質

●ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

3 FAXスタート **または** /決定 **を押す**

●自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-24ページ）**

■ **受話器を取ってファクスを送るときは**
① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、
電話帳で送るときは、見てからダイヤル/電話帳 を2回押して、
▲ または ▼ で相手の方を選ぶ
（第1番号に送るときは、このあと /決定 を押して送ることもできます。）
再ダイヤルするときは、再ダイヤル を押し、手順④へ進む
③ 電話帳で送るときは、詳細表示 を押し、
▲ または ▼ で電話番号（第1番号または第2番号）を選ぶ
④ /決定 を押し、相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタート を押す
⑤ 受話器を戻す

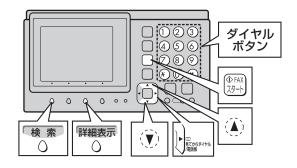
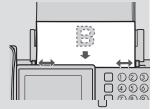
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-30ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

お知らせ

● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
● 電話帳や再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

親機の電話帳から名前で検索してファクスを送る

名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 **を2回押す**

電話帳　登録　4件　(残り 96件)
›時報　117
›天気予報　177
›番号案内　104
池田 悟　0312345678
で選択，[/決定] でFAX送
検索｜新規登録｜詳細表示｜戻る

3 **検索 を押す**

- 読みが50音で始まるときは、手順３をとばして手順４に進むことができます。

4 **ダイヤルボタンで名前の「読み」を入力する**
（☞1-38～1-42ページ）

- 「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

5 **を押す**

電話帳　登録　4件　(残り 96件)
›時報　117
›天気予報　177
›番号案内　104
池田 悟　0312345678
で選択，[/決定] でFAX送
検索｜新規登録｜詳細表示｜戻る

6 **▲または▼で相手の方を選ぶ**

7 **詳細表示 を押し、▲または▼で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ**

- 第１番号にファクスを送るときは、手順６のあと、FAXスタートボタンを押して送ることもできます。

8 **FAXスタート または /決定 を押す**

- 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■ **途中でやめるときは**

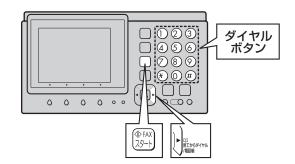
停止 を押します。

■**原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

お知らせ

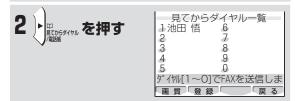
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。

見てからダイヤルでファクスを送る

見てからダイヤルを利用して、簡単にファクスを送ることができます。
見てからダイヤルを利用するには、あらかじめ親機の電話帳から番号を登録しておく必要があります。
(☞2-26ページ)

操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 見てからダイヤル/電話帳 **を押す**

3 **ファクスしたい番号が登録されたダイヤルボタン（1～0）を押す**

- 相手の方の名前が表示され、ダイヤルを始めます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■**原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-8ページ）の方法で送信してください。
- 見てからダイヤルでファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機の操作でファクスを送る

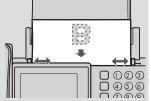
子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送信できます。

操作のしかた

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

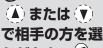
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

通話を押して、相手の方の番号をダイヤルする

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

▲または▼で相手の方を選んだあと、通話を押す

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

◁を押したあと、▲または▼で相手の方を選び、通話を押す

3 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能を押す

●機能ボタンを押すと、親機がファクスを送り始めます。

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞3-9ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

手順3を行うまでの間に 切 を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-31ページ）**

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。

● 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。

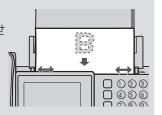
子機の電話帳から名前の頭文字で検索してファクスを送る

子機の電話帳に登録されている相手の方を選ぶとき、名前の頭文字で検索して選ぶことができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。（☞3-4ページ）画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 子機

を押す

3 子機

相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

（例）「イ」で探す：

を 2 回押す

4 子機

を押す

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。

●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

5 子機

または で相手の方を選び、を押す

●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

6 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

を押す

●機能ボタンを押すと、親機がファクスを送り始めます。

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 ☞3-9ページ）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

7 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

を押します。

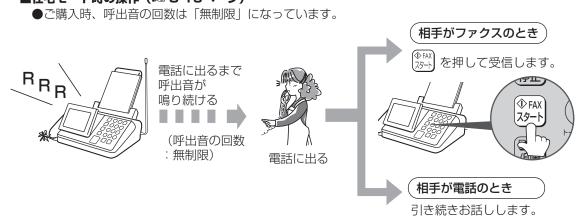
ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。
受信したファクスのプリントのしかたは、「見てからプリント」「メモリー受信」「記録紙受信」から選びます。

在宅モード（家にいるとき）

■在宅モード時の操作（☞3-19ページ）

（☞3-19ページ）

●ご購入時、呼出音の回数は「無制限」になっています。

一定の呼出音が鳴った（1～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。（☞3-21～3-22ページ）
ただし、相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。FAXスタートボタンを押して受信してください。

お知らせ

● 呼出音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。
（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）

留守モード（留守にするとき）

■留守モード時の動作（☞4-2～4-4ページ）

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定（☞9-7ページ）を「なし」にします。

※ただし、「なし」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、次の３通りです。お買いあげ時は、メモリー受信に設定されています。

変更するときは「FAX受信方法を選ぶ」で設定します。（☞5-15ページ）

見てからプリント（☞3-23～3-27ページ）‥ ファクスをメモリー受信（※）し、ディスプレイに表示して確認することができます。内容を確認してから、必要なファクスだけプリントできます。（自動的にはプリントしません。）

メモリー受信 ‥‥‥ ファクスをメモリー受信（※）してから自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

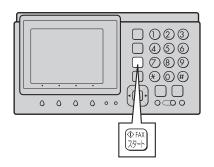
記録紙受信 ‥‥‥‥ ファクスを受信しながら自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。

※メモリー受信とは

送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったんファクシミリのメモリーに記録することです。

電話に出てからファクスを受ける

親機で電話に出てから ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

操作のしかた 原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて
FAXスタート **を押す**

- ●受信が始まります。
- ●受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

3 受話器を戻す

- ●ファクス受信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-6ページ）

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー…」という音が聞こえたら FAXスタート を押してください。

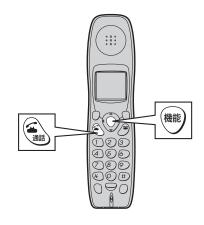
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ 呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えるときは

（☞3-21～3-22ページ）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を検出すると、ファクス受信に切り替わります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅モード時のコール回数」を 6 回以下に設定してください。

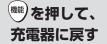
7 回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。

子機で電話に出てから ファクスを受ける

操作のしかた 親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
を押して、充電器に戻す

●親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

（「おまかせ受信」を解除するには ☞9-6ページ）

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー…」という音が聞こえたら（機能）を押してください。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

お知らせ

● キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。

● コピー中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。

● 固定メッセージが流れている間に、親機の停電時端子に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。

● 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機のFAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

親機で自動的にファクスを受ける

呼出音の回数を設定（☞3-22ページ）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

こちら側（呼出音の回数を 6 回に設定しているとき）

相手側

電話をかけている
（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）

こちら側

呼出音が鳴る

呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、FAXスタートを押してから受話器を戻してください。

プルル(1回目)
・
・
プルル(6 回目)

相手側

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」

こちら側

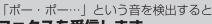
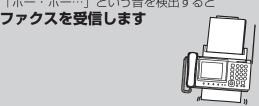
6 回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に
固定応答メッセージが流れる

応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

相手側

相手の方がスタートボタンを押す

こちら側

ファクスを受信します

お知らせ

- 呼出音の回数を 7 回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、「自動的にファクスを受けるときの呼出音の回数を変える」で、呼出音の回数を 6 回以下に設定してください。（☞3-22ページ）
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（☞4-2～4-4ページ）
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、FAXスタートボタンを押して受信してください。

自動的にファクスを受けるときの呼出音の回数を変える

操作のしかた　受話器を置いたまま操作します

1 登録 を押し、▲ または ▼ で「音関連設定」を選ぶ

2 /決定 を押し、▲ または ▼ で「親機呼出音」を選ぶ

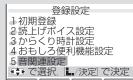
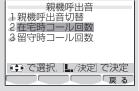
3 /決定 を押し、▲ または ▼ で「在宅時コール回数」を選ぶ

4 /決定 を押し、▲ または ▼ で「回数選択」を選ぶ

5 /決定 を押す

6 呼出音の回数を入力する（01～25回）

（例）０６回 0 6

7 /決定 を押す

8 停止 を押す

■ **「無制限呼出」になっているときは**

呼出音が鳴り続けて、応答しません。
（はじめは「無制限呼出」になっています）

■ **受信できない状態のときは**

呼出音が鳴り続けて、応答しません。

■ **呼出音の種類を変えるときは（☞1-28～1-29 ページ）**

メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

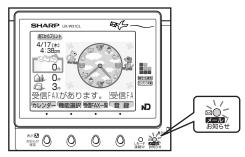
見てからプリント機能とは

メモリー受信したファクスを画面に表示して確認してから、必要なものをプリントすることができます。

見てからプリント機能を使うときは、あらかじめ次の設定をしてください。（☞5-15ページ）
・「FAX受信方法を選ぶ」→「見てからプリント」

メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

1 ファクスを受信したことが表示され、お知らせランプ（赤色）が点灯する

2 受信FAX一覧を押し、「FAX受信リスト」を表示する

3 ▲または▼で表示したいファクスを選ぶ

4 /決定を押す

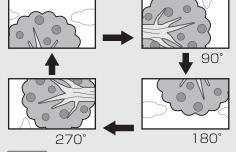
たて方向にスクロールできることを示しています。

よこ方向にスクロールできることを示しています。

倍率切替（☞3-27ページ）
押すたびに拡大／縮小／標準表示されます。

回 転（☞3-27ページ）
押すたびに表示を90°ずつ右回転させます。

次ページ（☞3-27ページ）
次のページを表示します。次のページがないときは、押しても無効となります。

戻 る
1つ前の画面にもどします。

データを印刷する（☞3-27ページ）
画面にファクスが表示されているときに、コピー/印刷を押します。

データを消去する（☞3-29ページ）
「FAX受信リスト」で、消去したいファクスを選び、キャッチ/消去を2回押します。また、データの表示中にキャッチ/消去を2回押して、ページごとに消去することもできます。

■ **メモリー受信枚数・受信件数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約36枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）

受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ **メモリーがいっぱいになったときは**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。または、「FAX受信方法」の設定を「記録紙受信」にしてください。

（「記録紙受信」の場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと受信できません。）

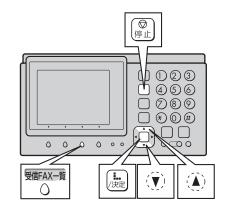
お知らせ

- ファクスの受信方法を「メモリー受信」に設定していると（FAX受信方法を選ぶ☞5-15ページ）、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます。（待機画面に「メモリー受信」と表示されます。
- 「記録紙受信」の設定で受信したファクスは（FAX受信方法を選ぶ☞5-15ページ）、「見てからプリント」機能で内容を確認することはできません。

メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

受信したファクスを画面に表示する

「見てからプリント」機能を使ってファクスをメモリー受信すると、受信内容を画面に表示して確認することができます。

?操作ガイド で受信データの確認方法を見ることができます。

操作のしかた

1 「受信FAXがあります。…」と表示される

2 受信FAX一覧 を押す

- FAX受信リストが表示されます。
- 8件目以降は ▲ または ▼ でカーソルを移動して表示させます。

3 ▲ または ▼ で表示したい受信データを選び、/決定 を押す

- メモリー受信したデータを表示します。
- 表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。（☞3-26～3-27ページ）

4 停止 を押す

- 待機画面に戻ります。

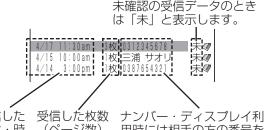
■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **FAX受信リストについて**

未確認の受信データのときは「未」と表示します。

受信した日付・時刻を表示します。

受信した枚数（ページ数）を表示します。

ナンバー・ディスプレイ利用時には相手の方の番号を表示します。
ネーム・ディスプレイ利用時や電話帳に登録しているときは名前を表示します。

■ **「データがありません」と表示したときは**

メモリー受信されているデータはありません。

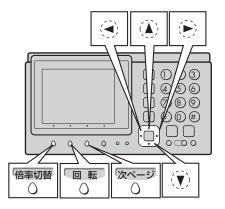
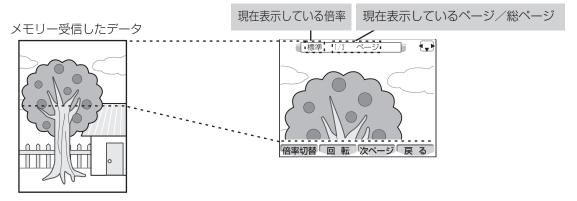
■ **受信情報を確認したいときは**

受信FAX一覧 を押したあと、受信情報 を押す。
（受信FAXの件数、未確認FAXの件数、メモリー残量（%）が約5秒間表示されます。）

お知らせ

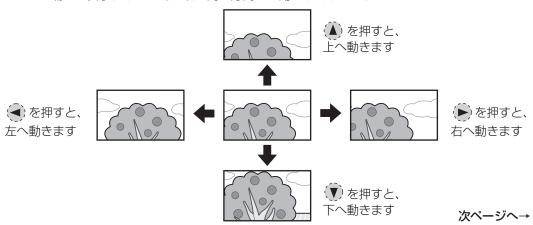
- A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。
- メモリー受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

表示したファクスの見かた

メモリー受信した内容を画面に表示することができます。（☞3-25ページ）
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

（例）メモリー受信したデータは、下記のように表示されます。（受信内容が、複数ページあるときは、１ページ目を表示します。）

操作のしかた

■表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）

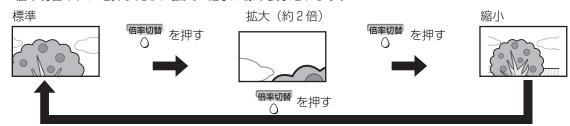
●データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

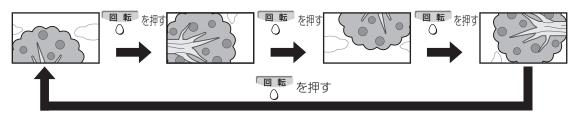
次ページへ→

お知らせ

● 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。

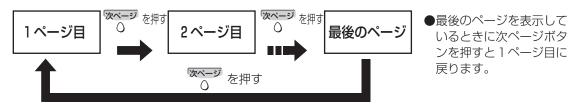
→つづき

■表示しているデータを拡大／縮小／標準表示する

倍率切替ボタンを押すたびに拡大／縮小／標準表示されます。

■表示しているデータを回転する

回転ボタンを押すたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。

■ページを変える

複数ページをメモリー受信しているデータのときは、次ページボタンを押すたびに次のページを表示します。

●最後のページを表示しているときに次ページボタンを押すと1ページ目に戻ります。

■表示しているページをプリントする

表示中に［コピー/印刷］を押す

表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）

※複数ページのときは、プリントしたページのみメモリーから削除されます。
　1枚のみのときもプリントしたFAXデータはメモリーから削除されます。

■表示しているページを消去する

表示中に［回線断 キャッチ/消去］を2回押す

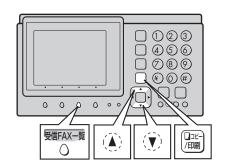
※複数ページのときは、表示していたページのみメモリーから削除されます。

■ メモリー受信したデータを1件ずつ消去するときは
（☞3-29ページ）

お知らせ

- 拡大／縮小表示中にコピー/印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。

操作のしかた

1 受信FAX一覧 を押す

●FAX受信リストが表示されます。（☞3-25ページ）

●8件目以降は▲または▼を押して表示させます。

2 ▲または▼でプリントしたい受信データを選ぶ

3 コピー/印刷 を押す

●プリントを開始します。プリントした受信データはメモリーから消えます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1ページずつプリントするときは**

① 受信FAX一覧 を押す（FAX受信リストが表示されます。）

② ▲または▼でプリントしたい受信データを選んだあと、/決定 を押す（選んだ受信データの1ページ目を表示します。）

③ 次ページ を押してプリントしたいページのみを表示させる

④ コピー/印刷 を押す（表示していたページをプリントします。プリントしたページは、メモリーから消えます。）

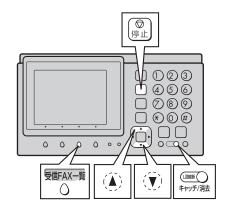
■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから（☞8-7ページ）、インクリボンを交換（☞8-8～8-10ページ）してください。

お知らせ

● プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

メモリー受信したファクスを消去する

メモリー受信した内容を記録紙にプリントしないで、
FAX受信リストから選んで消去することができます。

操作のしかた

1 受信FAX一覧 **を押し、▲または▼で消去したい受信データを選ぶ**

●FAX受信リストが表示されます。（☞3-25ページ）

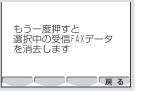
● 8 件目以降は▲または▼でカーソルを移動して表示させます。

2 キャッチ/消去 **を押す**

3 もう一度 キャッチ/消去 **を押す**

●選んだ受信データが消去されます。

4 停止 **を押す**

●他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 確認済みの受信データを消去するときは

① キャッチ/消去 を押し、▲または▼で「確認済受信FAX 全消去」を選ぶ

② /決定 を押す

③ もう一度、/決定 を押す

■ すべてのメモリー受信データを消去するときは

① キャッチ/消去 を押し、▲または▼で「受信FAX全消去」を選ぶ

② /決定 を押す

③ もう一度、/決定 を押す

■ 1ページずつ消去するときは

① 受信FAX一覧 を押す（FAX受信リストが表示されます。）

② ▲または▼で消去したい受信データを選び、/決定 を押す（選んだ受信データの１ページ目を表示します。）

③ 次ページ を押して消去したいページを表示させる

④ キャッチ/消去 を２回押す（表示していたページを消去します。）

⑤ 停止 を押す（他に受信データがないときは、自動的に待機画面に戻ります。）

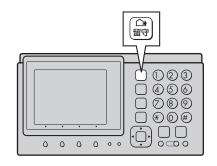
第4章 留守番電話

ページ

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約20分間または、30件までです。

操作のしかた

1 [留守]を押して点灯させる

固定応答メッセージ

消 灯　点 灯

●留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます。

●録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にするときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する
（☞4-9ページ）
② [留守] を押す

■ **固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは２秒に設定されています。１秒または４秒に変更することができます。
（発信音待ち時間　☞9-6ページ）

お知らせ

- オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。（☞4-3ページ）
- 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（☞4-8ページ）
- ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信FAXがあります…」と表示されます。（☞3-23ページ）

固定応答メッセージの内容は変わります。

状態	応答メッセージ
ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（☞5-17〜5-19ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）

応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。

① 登録 を押し、▲または▼で「音関連設定」を選ぶ
② 決定 を押し、▲または▼で「親機呼出音」を選ぶ
③ 決定 を押し、▲または▼で「留守時コール回数」を選ぶ
④ 決定 を押し、▲または▼で「回数選択」を選ぶ
⑤ 決定 を押し、ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回〜25回）
⑥ 決定 を押す
⑦ 停止 を押す

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ 留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞9-6ページ）

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。（工場出荷時は「あり」に設定されています。）
「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

お知らせ

- 応答メッセージが流れているときや録音が始まってから受話器を取ると、通話できます。（親機・子機とも）
  ただし、増設電話機では通話できません。
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信データをプリントまたは消去するか（☞3-28、3-29ページ）、不要な録音を消去してください。（☞4-8ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

着信までの呼出回数とトールセーバー

留守モードでは着信までの呼出回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

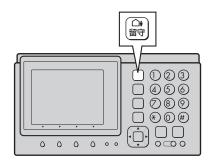
メッセージがあるとき………呼出回数2回で着信
メッセージがないとき………呼出回数5回で着信

→ 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☞5-17〜5-19ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

■ **留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは**

① 登録 を押し、▲または▼で「音関連設定」を選ぶ
② /決定 を押し、▲または▼で「親機呼出音」を選ぶ
③ /決定 を押し、▲または▼で「留守時コール回数」を選ぶ
④ /決定 を押し、▲または▼で「トールセーバー」を選ぶ
⑤ /決定 を押す
⑥ 停止 を押す

留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

操作のしかた

1 留守 を押す

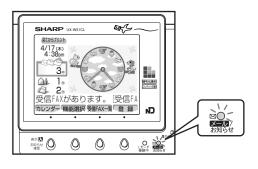
留守設定中に録音があると点滅しています。

点 滅　　消 灯

録音されている件数が表示されます。

- 留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に１回再生します。
- 再生中は4-6ページと同じ操作で「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
- 録音内容を１件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。（タイムスタンプ）
- 留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（☞4-6ページ）

■ 親機のディスプレイに「受信FAXがあります。…」と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示すると「受信FAXがあります。…」の表示が消えます。（☞3-23ページ）

留守設定以降の再生について

留守設定　　留守設定解除

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません

■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。

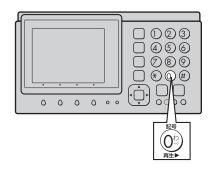
■ 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に１回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、２回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。
  再生ボタンを押して約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く（再生する）」（☞4-6～4-7ページ）の操作をします。

お知らせ

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- 親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。（☞1-34ページ）

録音されている内容を聞く（再生する）

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。

親機で録音内容を再生する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 [0わ 記号 再生▶]を押す

再生
4月17日　3：00 PM
内容：用件　　再生：未
1件目 再生中
[#]で次の録音，[＊]で前の録

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**
[停止]を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、[#]を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、[0わ 記号 再生▶]を押す（速くなる）
もう一度、[0わ 記号 再生▶]を押す（遅くなる）
もう一度、[0わ 記号 再生▶]を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、[＊ トーン]を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、[＊ トーン]を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して[＊ トーン]を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、[＊]ボタンを2回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに[＊]をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**
再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を 2 回押す**

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約 3 秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は 1 件目から再生）

留守設定していないとき

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は 1 件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

（切）を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（6）を押す

早聞きするときは

再生中に、（9）を押す

もとに戻すときは、もう一度、（9）を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（5）を押す

1 つ前の録音に戻すときは

再生中に、（5）を 2 回続けて押す

今聞いている録音の 1 件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して（5）を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3 秒以上再生したあと、（5）ボタンを 2 回続けて押すと

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに（5）をくり返し押す　1 つ前の録音に戻る

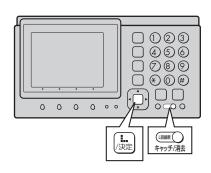
■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まって呼出音が聞こえます。このあと（通話）を押すと通話できます。

お知らせ

● 一度聞いた不要な用件は消去してください。（☞4-8ページ）録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
● 親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。（☞1-34ページ）

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

録音を1件消去する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 消したい録音を再生中に [キャッチ/消去] **を２回押す**

2件目 消去しました

録音をすべて消去する

操作のしかた

1 [キャッチ/消去] **を押し、▲または▼で「一般録音　全消去」を選ぶ**

各種消去
一般録音 全消去
着信記録 全消去
受信FAX 全消去
確認済受信FAX 全消去
お断り番号 全消去
◀▶ で選択, [/決定] で決定
戻る

2 [/決定] **を押す**

一般録音 全消去
[/決定] で消去します
戻る

3 [/決定] **を押す**

消去しました

■ **親機のメモリーの残量を確認するときは（メモリー残量表示）**

① [機能選択] を押し、▲または▼で「メモリー残量表示」を選ぶ

② [/決定] を押す

メモリー残量　80%

③ [停止] を押す（待機画面に戻ります）

オリジナル応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます。（オリジナルメッセージ）録音できる時間は他の録音と合わせて最大約20分です。

操作のしかた

1 **機能選択 を押し、▲ または ▼ で「オリジナル応答」を選ぶ**

機能選択
1 コピー設定
2 着信記録
3 インクリボン使用量
4 メモ録音・通話録音
5 オリジナル応答
◆ で選択，[決定] で決定
画 質　戻 る

2 **決定 を押し、「録音」を選ぶ**

オリジナル応答
1 録音
2 消去
3 再生
◆ で選択，[決定] で決定
画 質　戻 る

3 **決定 を押す**

オリジナル応答　録音
受話器をお取りください

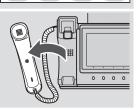
4 **受話器を取る**

5 **決定 を押し、受話器で応答メッセージを話す**

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

6 録音が終わったら
停止 を押し、受話器を戻す

●録音したメッセージを再生します。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**
録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**
手順２で「再生」を選び、決定 を押します。
オリジナルメッセージが再生されます。

■ **応答メッセージを消すときは**
手順２で「消去」を選び、決定 を押します。

お知らせ

● 応答メッセージを録音すると、留守設定時には録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）が流れます。固定応答メッセージに戻したいときは、録音した応答メッセージを消してください。
● 応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。（☞4-2～4-3ページ）記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。